

取扱説明書

ブースターケーブル



このたびは、ブースターケーブルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

- 本来の用途以外には使用しないでください。● 車に合ったブースターケーブルをご使用ください。容量の小さいブースターケーブルをご使用になられますと、エンジンがかからなかったり、ケーブル・クリップ・クリップカバーが発熱、発煙、溶解するなどのおそれがあります。また、バッテリーの状態によりかからない場合もございます。
- 電圧の異なる車には、絶対に接続しないでください。● 必ず屋外でご使用ください。● ご使用前に、ケーブル・クリップ・クリップカバーに破損・腐食がないかご確認ください。
- 接続作業中は、誤接続(取扱説明書以外の接続)、ショート(赤クリップとクリップの接続)は絶対にしないでください。● 接続作業中は、赤クリップを車体に接触させないでください。● クリップは使用中に外れないようにしっかり接続してください。また濡れた手で使用しないでください。● ブースターケーブル接続後、エンジンをかける前に接続部周辺に人がいないか必ずご確認ください。● 使用中に火気を近づけたり、引火しやすい物の近くでは絶対に使用しないでください。
- ケーブル・クリップ・クリップカバーが発熱、発煙、溶解するおそれがあり危険ですので、長時間使用しないでください。● 小さなお子様には使用させないでください。また、手が届かない場所に保管してください。

注意

- ケーブルがベルトやファンに接触しないように接続してください。● 故障車のバッテリー容量と同じか、それ以上のバッテリー容量の救援車にしてください。● 被膜はPVC樹脂のため、ガソリンと接触しないでください。溶解する可能性があります。

× 接続不可

- 下記の接続は絶対にしないでください。
- ・12V乗用車⇔24Vトラック(別電圧同士)
 - ・12V乗用車(救援車)⇒12Vディーゼル車(故障車)

○ 接続可能

- ・12V乗用車⇔12V乗用車(同電圧同士)
- ・12Vディーゼル車(救援車)⇒12V乗用車(故障車)
- ・注文コード35116891と35116907は24V同士の接続は可能です。

仕様

注文コード	35116873	35116882	35116891	35116907
材質	CCA(アルミ線+銅被覆)			
長さ(m)	3	3	3	5
電圧(V)	12	12	12/24	12/24
電流(A)	50	80	100	100
電線仕様	3.0sq	6.3sq	8.3sq	8.3sq
ケーブル外径(Φmm)	7.0	8.0	9.0	9.0

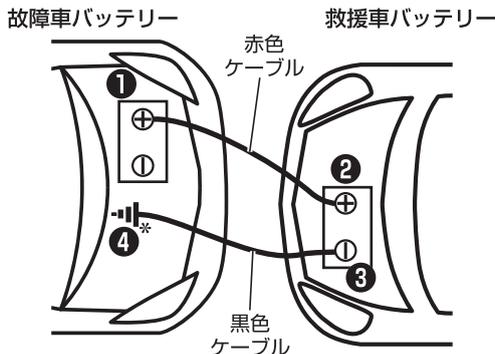
※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

2 使用方法

■ ブースターケーブルを接続する

※ 接続する前に、救援車と故障車の双方のエンジンを停止してください。

- 1 赤いケーブルを故障車のバッテリーのプラス端子(①)に接続します。
- 2 赤いケーブルのもう一方を救援車のバッテリーのプラス端子(②)に接続します。
- 3 黒いケーブルを救援車のバッテリーのマイナス端子(③)に接続します。
- 4 黒いケーブルのもう一方を故障車のエンジン本体にある金属フックなどのボディアース(④)に(塗装面以外)に接続します。
接続が困難な場合は故障車のバッテリーのマイナス端子に接続してください。



※ エンジンブロックなどのボディアース

■ エンジンをかける

※ クリップがバッテリー端子にしっかり接続しているか確認してください。

- 5 救援車のエンジンをかけ、アクセルペダルを踏み、エンジン回転数を高めにしてください。

※ オートマチック車は必ずパーキングレンジにしてください。
マニュアル車はニュートラルにしてサイドブレーキを必ずかけてください。

- 6 この状態で5~10分の補充電をしてから、故障車のエンジンをかけます。

※ 故障車のエンジンキーを3秒間回してエンジンがかからない場合、7秒以上をおいて再度行ってください。10回行ってもしエンジンがかからない場合、ブースターケーブルの使用を止め、容量の大きいブースターケーブルに変えるか、他の故障原因を調べてください。

■ ブースターケーブルを取り外す

- 7 故障車のエンジンがかかったら、ケーブルが冷却しているのを確認後、接続したときと逆の手順(4 ⇒ 1)で取り外してください。

3 保管方法

- 車のトランク内や屋内ガレージ、湿気のない涼しいところで保管してください。
- 直射日光や高温、水がかかる場所での保管を避けてください。
※ 保管中に、ケーブル、クリップ、クリップカバーの色が多少褪せる場合がありますが、性能には問題ありません。